
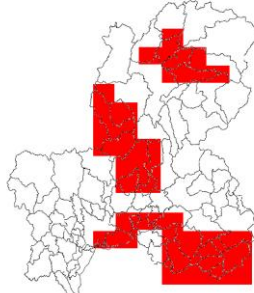


ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke	絶滅危惧Ⅱ類
		トチカガミ科
選定理由	生育地と個体数が急速に減少している。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	茎は伸長して長さ25cmほどにまでなり、分枝もする。葉は互生し、線形、先に向かって次第に細くなり、長さ3-5cm、幅1.5-2.2cm。花柄は水面より上に出て花を咲かせる。萼は筒部が長く、裂片は3枚。花弁は3枚で細長く、長さ約8mm、白色。雄蕊は3本。雌蕊の花柱は3裂する。	
生態的特徴	溜池、水田、水路などに生育する沈水性の1年草。花期は7-10月。	
分布状況	インドから東アジアにかけてとニューギニアに分布し、日本では本州から南にある。岐阜県では県北と県南の東部と中部に記録がある。	
減少要因	溜池などの埋め立てと、農薬を含む水質の悪化が考えられる。	
保全対策	生育する場所の保全と水質の浄化。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘